

みづしるべ

107



MIZUSHIRUBE

みづしるべ

新丸山ダムのキャラクター しんまるくん

発行
建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所

13
INFORMATION

しんまる情報

新丸山ダム周辺の自然に親しみ、冬は雪遊び、春は桜を眺めるなど、自然を満喫できるスポットです。また、ダム周辺の環境整備が進んでおり、自然と調和した風景が楽しめます。

MIZUSHIRUBE

みづしるべ

新丸山ダムのキャラクター しんまるくん

発行
建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所

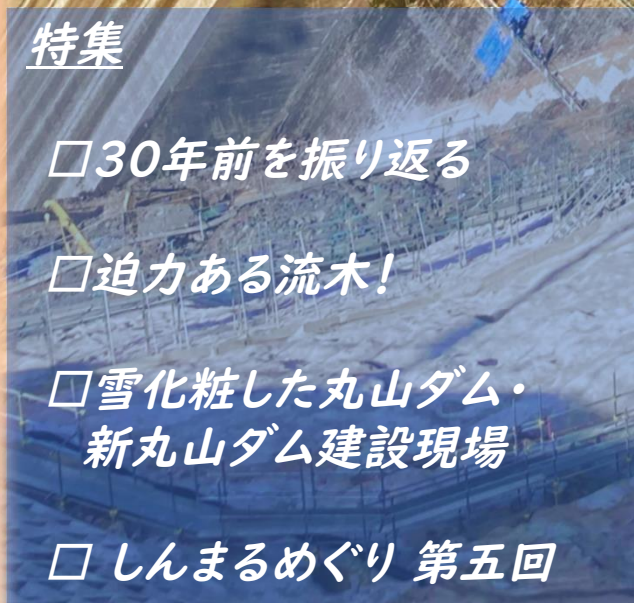
14
INFORMATION

建設省中部地方建設局新丸山ダム工事事務所より発行する「みづしるべ」は、新丸山ダム周辺の自然や環境について、わかりやすく紹介しています。また、ダム周辺の環境整備が進んでおり、自然と調和した風景が楽しめます。

新丸山ダム概要
新丸山ダム建設事業は、本管川水系が建設省中部地方建設局が所管する新丸山ダム建設事業に属する。建設省中部地方建設局が所管する新丸山ダム建設事業は、建設省中部地方建設局が所管する。建設省中部地方建設局が所管する新丸山ダム建設事業は、建設省中部地方建設局が所管する。

特集

- 30年前を振り返る
- 迫力ある流木!
- 雪化粧した丸山ダム・新丸山ダム建設現場
- しんまるめぐり 第五回



□30年前を振り返る

阪神淡路大震災から令和7年1月17日で30年です。
 ここでは、新丸山ダム建設事業を30年前のみずしるべで振り返りました。
 当時も、最新の技術を駆使して、安全や環境に配慮し工事を進めています。

道路建設 1995.1みずしるべ13号より

新技術の導入

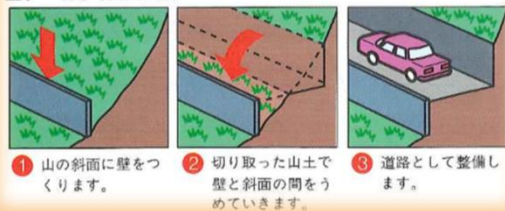
大峯支線工事【八百津町諸田】

険しい地形部は山を切り取り、コンクリート構造物を造りながら施工しています。これまでのコンクリート擁壁に比べ、工事の進めやすさや経済性に優れています。また、現場で切り取った土砂を利用するなど環境にも配慮しています。



事業に導入された新技術の一つを紹介します

■テールアルメ工法



- 山の斜面に壁をつくります。
- 切り取った山土で壁と斜面の間をうめていきます。
- 道路として整備します。

険しい山間地では、工事のための作業スペースの確保や安全対策も平地とは異なります。コンクリート構造物をつくりながら施行するなど新技術を取り入れ施工しています。また、現場で出た土砂を利用するなど環境にも配慮しています。

周辺地域への配慮

大峯線法面工事【八百津町口杣沢】

山間地の道路建設では、山側斜面(法面)の防災工事も欠かせない大切なものです。この工事では、近くに人道の丘公園があることから、周辺景観にも配慮した緑を活かした緑化

工法を採用。ツツジが植えられる緑化ブロックは、擁壁の圧迫感を感じさせない暖かい印象を与えます。なお、工事期間中でも、土・日曜は、現場内を通行できるようにしています。



防災にも欠かせない擁壁ですが、圧迫感を与えてしまいます。しかし、擁壁を緑化ブロックにすることで暖かい印象を与えます。

地質調査 1995.3みずしるべ14号より

ダムをつくるために、土台となる基礎の岩盤を調査！直接岩盤を確認し、ダムの重さに耐えられるかなどを調べます。

1 ダムサイトの地質調査

確認が必要な場所にタテやヨコに穴を開けて岩盤を調査します。

ダムをつくるには、その土台となる基礎の岩盤がしっかりしていなければなりません。このため、ダムを建設するとき、ダム計画地点の地質について様々な調査を行います。地表面からは山の深部の地質がわからないため、ボーリングマシンという機械を使って山腹に垂直方向の穴を開け、そこにある土や岩などを採取し分析するボーリング調査や、

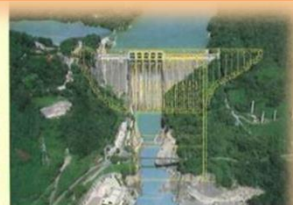
高さ1.8~2m、幅1.5mの水平方向のトンネルを掘り、作業員が中に入って調査する横坑調査で岩盤を確認。ボーリング調査で掘った穴に水を注ぎ、染み透る様子を測定し、ダムの基礎岩盤が貯水池の水をもらさないかを把握します。横坑調査ではボーリング調査の結果から、もっと詳しい調査が必要など、直接、岩盤を目で見て、岩盤がダムの重さに耐えられるかなどを調べます。



2 新丸山ダム周辺の地質

後々のための地道な調査が良いダムづくりにつながります。

大地からは、いろいろな石が出てきます。石はそのでき方によって火成岩、堆積岩、変成岩に分けられます。新丸山ダムの近くは地体構造区分上、美濃帯で、堆積岩でできています。堆積岩は砂や泥、火山灰などが積もって非常に長い年月を経て固まった岩石です。堆積岩はそのでき方や性質によって砂岩、泥岩、凝灰岩などに分けることができます。



工事を行う前にしっかり調査を行います。



ダム建設には、調査が欠かせません。地質調査の他に環境調査等様々な調査を行い、より安全で快適な暮らしになるよう進めています。

※環境調査については13号で掲載しています。ぜひご覧ください。

「みずしるべ」は下記リンクよりご覧いただけます。

https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/310_mizushirube/main.html

□ 迫力ある流木！

丸山ダム管理支所では、迫力ある流木がお出迎え！
樹齢何百年の歴史感じる流木が飾られています。



ダム湖には多くの流木が流れ込みます。

ダムごみとも呼ばれる流木ですが、

「地域資源」として有効活用していこうと取り組んでおります。

丸山ダム管理支所では「流木活用」のアイデア募集を行っています。

興味がある方は下記リンクをご参照ください！

<https://www.cbr.mlit.go.jp/maruyama/pdf/ryuubokukatuyou.pdf>

□ 雪化粧した丸山ダム・ 新丸山ダム建設現場

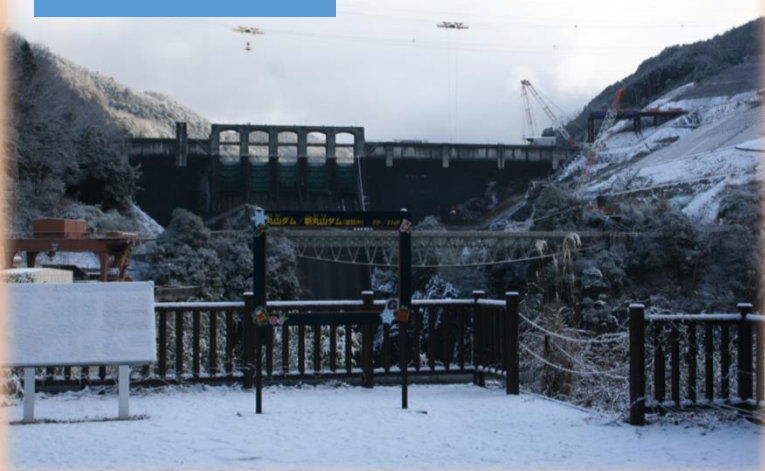
オリジナルダムカードが作れる写真スポット！

雪化粧したダムで世界に一つしかない

冬のオリジナルダムカードを撮影にしてみたいはいかがでしょうか。



R7.1 まるっとテラス



「丸山ダム展望台（まるっとテラス）」へのアクセス方法は下記リンクをご参照ください。
https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/605_oshirase/20240626/20240626.pdf

しんまるめぐり 第五回

美濃歌舞伎博物館 相生座

〒509-6251 岐阜県瑞浪市日吉町8004-25
<https://www.nakasendou.jp/aioiza/>

・相生座

明治28年に下呂町宮地の一村が完成させた相生座と、明治初期まで名古屋の大曾根にあった芝居小屋を旧恵那郡明智町に移築した常盤座を合体復元したもので、昭和51年に新生「相生座」として生まれ変わりました。

※本体部分は相生座、
舞台材料、機構は常盤座として組み込まれています。

・美濃歌舞伎の保存

昭和47年に美濃歌舞伎保存会が発足され、現在まで保存と活用がなされています。保存と活用では、4つの柱を主として行われています。

- 1つ目 「相生座の保存と活用」
- 2つ目 「衣装の保存と活用」
- 3つ目 「江戸の型の踏襲」
- 4つ目 「次の世代の育成」

江戸期の人々の思いを伝えたいと思っています。

【美濃歌舞伎公演】

長月公演 毎年9月最終土曜日
入場無料（全席自由席）
敬老公演 長月公演の前日
入場無料（全席自由席）
（要入場整理券）

編集・発行

〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所
TEL：0574-43-2780
MAIL：cbr-shinmaru@mlit.go.jp

WEBサイト

<https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/index.html>

SNS（公式X）

国土交通省丸山ダム管理支所・新丸山ダム工事事務所
[@mlit_shinmaru](https://twitter.com/mlit_shinmaru)



新丸山ダム水源地域協議会



新丸山ダム
水源地域協議会
紹介ページ



新丸山ダム
工事事務所HP



公式X